

## 知床IP全体計画の今後の予定と利活用

今後の予定

R6 R7 計画 づくり 知床にある地域資源の価値を洗い出して整理 地域資源の価値に紐づくストーリーを言語化(明文化) 誰もが知床の価値・ストーリーをわかるようになる(ストーリーブック)

共有理解

地域のみんなに知ってもらう(インナーブランディング) みんなが語れるようになる

利活用

来訪者と地域で共有し、楽しんでもらうことで地域との結びつきを深めてもらう(施策への反映、展示改修など)

◆ 各事業者や地域団体の自主的な 取組みや活用

## 利活用

アウトプット

展開

ストーリーブック





ストーリーブックを活用したインナーブランディング(パンフレット、説明会、シンポジウムなど)

発展 地域向け、学校・教育向け、ガイド向けテキストなど

	短期(~1年)	中期(~5年)	長期(~10年)
環境省	ストーリーブック(IP全体計画)作成 知床エコツーリズム戦略への反映 地域へのインナーブランディング戦略作成・実施 環境省補助金を活用した各種事業の実施	ストーリーブック改訂・3~5年毎 公園計画・管理運営計画への反映 世界自然遺産地域の各種計画への反映 羅臼VC映像作成 らうす餐荘運営での活用 地域へのインナーブランディング実施 地域の取組みへの支援	<b>インタープリター育成支援</b> 遺産センター展示改修
各事業者	観光庁補助金※を活用した各種事業の実施	事業者からIP全体計画に沿った事業の取組みが始まる ・地域の人材育成のテキスト ・新たな観光コンテンツ造成 ・地域の魅力の情報発信力の強化 など	事業者にも価値の共有化がは かられ協力や連携が進む

※知床IPは観光庁事業と一緒に取り組んでおり、その成果(知床の価値やストーリー)に沿った事業であれば、観光庁補助金事業に採択するときの判断基準になる。